

悉く同ル中要下リ此ハ労働運動ノ終局ニ達スルニ  
リ考フルニ焦眉ノ急ナリト信ス京行方後トシテハ其  
ノ実ヲ尋ナルハ至難ナリト思料スルニ少ナク又其  
ニ於ケル代表的組合ノ代表者ト聯絡ヲ探ル事ニ於テ  
ハク事情ノ許ス限リ自分自ラ渡支シテ目的ノ貫徹ヲ  
期シ度ク希望ナリ又ニ東洋ニ於ケル労働団体ト懸  
ヲ計ルノ件ハ前途支那問題ト内容殆ト同一トシテ東  
亞ノ労働状態ヲ改善スベク促進スル事及ビ東洋諸國  
ノ業組織労働者ノ一大團結ヲ促進スル機運ヲ醸成ス  
ルヲ主眼トシ更ニ進ニテ全世界ノ労働者大同團結ノ  
道程トシテ必要ヲ感ズ本年ノ國際労働會議ニ於テ中  
度ノ労働代表ジヨニ一ト相協議シテ亞細亞ノ労働階級

觀者ヲ計ル事一步トシテ明年内天龍上海ニ於テ亞細  
亞諸國ノ労働団体代表者ノ會合ヲ行ヒ東亞労働組合  
會議ノ開催スル事而シテ右會議開催ノ運ビヲ爲  
メニ本会上ノ責任者トシテ日本労働代表者外之諸  
種為以テノ非公文ノ覺悟ヲ文淑セリ故ニ總同盟ハ大  
會ノ名ヲ以テ亞細亞労働組合會議開催ノ求議ニ其意  
轉リ斯レントス

右說明ニ就シテ過般支那労働者ノ職業ニ就シ總同盟  
加薩國タル手段ヲ以テ應援セリテ理由ハ印度労働  
者代表ノ團體ハ理想社支那及印度労働者ノ其ノ国内ニ  
於ケル賃銀四束並ニ吏部印度ニ於ケル労働団体ハ戰闘  
的ノモノナリ又協同的ノモノナリ又本年ニ實向應答